

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第95回)

2020年 7月～9月期 実績

2020年 10月～12月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和2年9月
- ② 調査対象期間 今期（令和2年7月～9月期）に対する前期（令和2年4月～6月期）及び前年同期（令和1年7月～9月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	217	80.4 (%)
輸送機器	40	→	35	87.5 (%)
その他製造	40	→	35	87.5 (%)
建設業	50	→	38	76.0 (%)
卸売業	30	→	26	86.7 (%)
小売業	40	→	30	75.0 (%)
サービス業	70	→	53	75.7 (%)

5. D I 値について

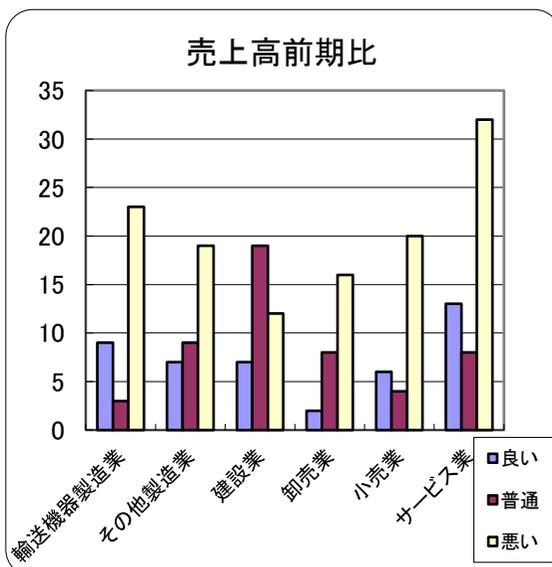
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

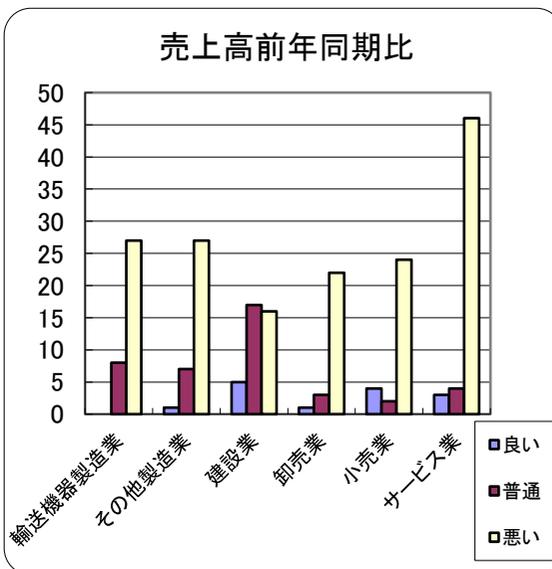
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	3	23	35	▲ 40.0
その他製造業	7	9	19	35	▲ 34.3
建設業	7	19	12	38	▲ 13.2
卸売業	2	8	16	26	▲ 53.9
小売業	6	4	20	30	▲ 46.7
サービス業	13	8	32	53	▲ 35.9
合計	44	51	122	217	▲ 35.9



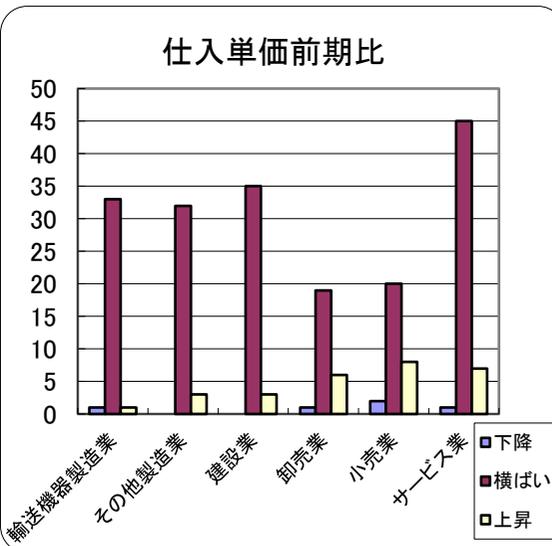
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	0	8	27	35	▲ 77.1
その他製造業	1	7	27	35	▲ 74.3
建設業	5	17	16	38	▲ 29.0
卸売業	1	3	22	26	▲ 80.8
小売業	4	2	24	30	▲ 66.7
サービス業	3	4	46	53	▲ 81.1
合計	14	41	162	217	▲ 68.2



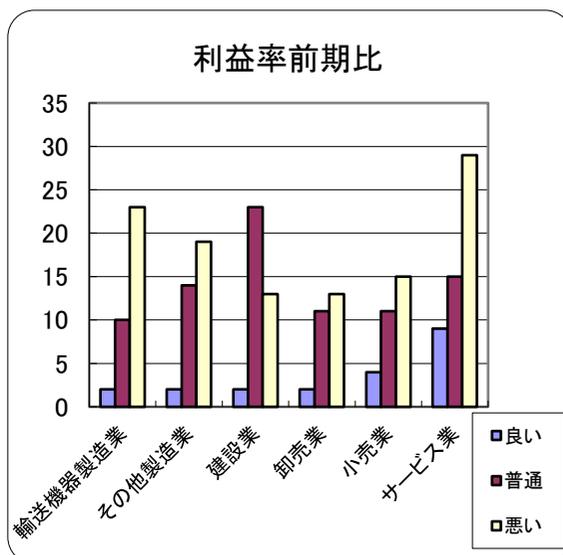
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	33	1	35	0.0
その他製造業	0	32	3	35	▲ 8.6
建設業	0	35	3	38	▲ 7.9
卸売業	1	19	6	26	▲ 19.2
小売業	2	20	8	30	▲ 20.0
サービス業	1	45	7	53	▲ 11.3
合計	5	184	28	217	▲ 10.6



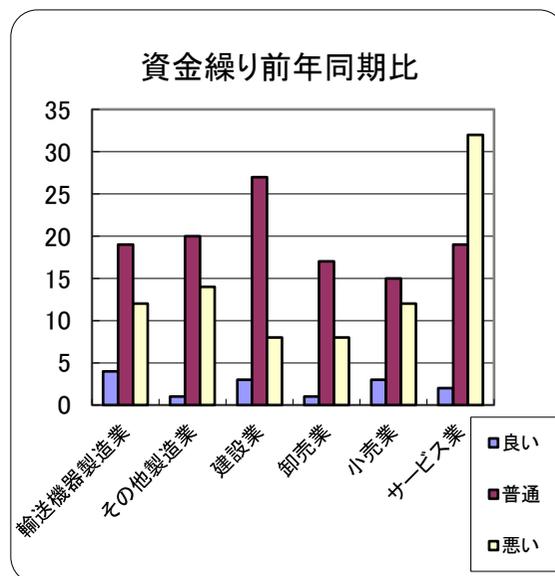
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	10	23	35	▲ 60.0
その他製造業	2	14	19	35	▲ 48.6
建設業	2	23	13	38	▲ 29.0
卸売業	2	11	13	26	▲ 42.3
小売業	4	11	15	30	▲ 36.7
サービス業	9	15	29	53	▲ 37.7
合計	21	84	112	217	▲ 41.9



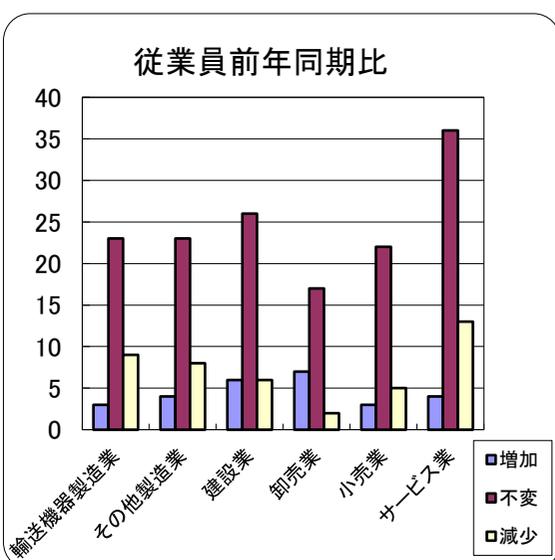
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	19	12	35	▲ 22.9
その他製造業	1	20	14	35	▲ 37.1
建設業	3	27	8	38	▲ 13.2
卸売業	1	17	8	26	▲ 26.9
小売業	3	15	12	30	▲ 30.0
サービス業	2	19	32	53	▲ 56.6
合計	14	117	86	217	▲ 33.2



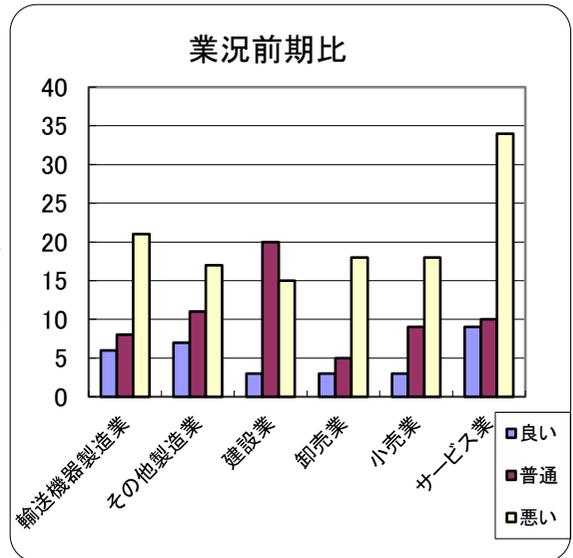
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	3	23	9	35	▲ 17.1
その他製造業	4	23	8	35	▲ 11.4
建設業	6	26	6	38	0.0
卸売業	7	17	2	26	19.2
小売業	3	22	5	30	▲ 6.7
サービス業	4	36	13	53	▲ 17.0
合計	27	147	43	217	▲ 7.4



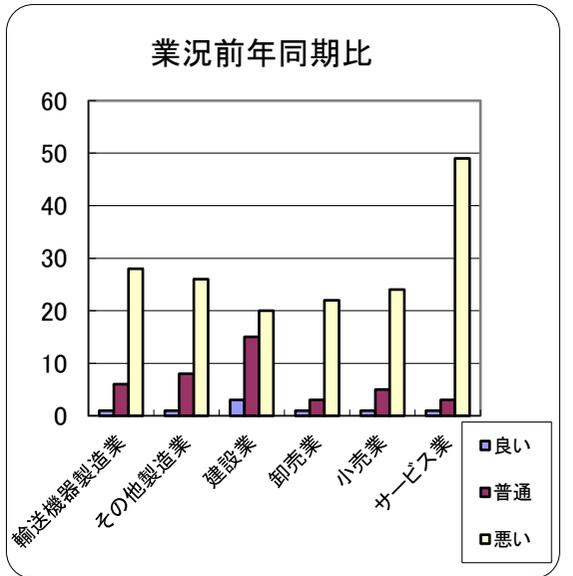
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	8	21	35	▲ 42.9
その他製造業	7	11	17	35	▲ 28.6
建設業	3	20	15	38	▲ 31.6
卸売業	3	5	18	26	▲ 57.7
小売業	3	9	18	30	▲ 50.0
サービス業	9	10	34	53	▲ 47.2
合計	31	63	123	217	▲ 42.4



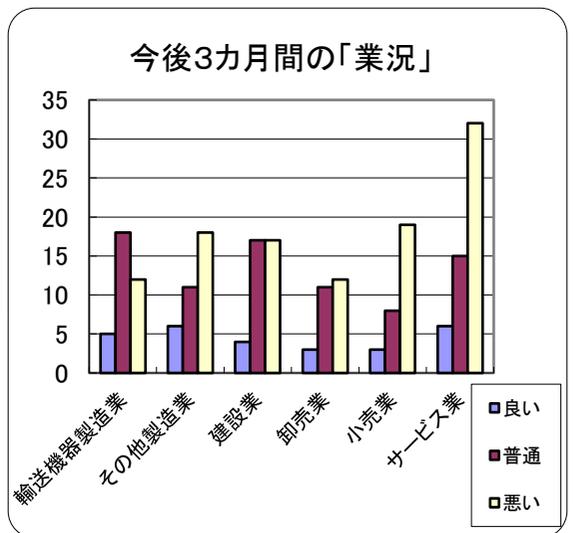
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	6	28	35	▲ 77.1
その他製造業	1	8	26	35	▲ 71.4
建設業	3	15	20	38	▲ 44.7
卸売業	1	3	22	26	▲ 80.8
小売業	1	5	24	30	▲ 76.7
サービス業	1	3	49	53	▲ 90.6
合計	8	40	169	217	▲ 74.2



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	18	12	35	▲ 20.0
その他製造業	6	11	18	35	▲ 34.3
建設業	4	17	17	38	▲ 34.2
卸売業	3	11	12	26	▲ 34.6
小売業	3	8	19	30	▲ 53.3
サービス業	6	15	32	53	▲ 49.1
合計	27	80	110	217	▲ 38.3



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 78.1	▲ 40.0	38.1
売上高前年同期比	▲ 90.6	▲ 77.1	13.5
仕入単価前期比	▲ 3.1	0.0	3.1
利益率前期比	▲ 65.6	▲ 60.0	5.6
資金繰り前年同期比	▲ 65.6	▲ 22.9	42.7
従業員前年同期比	▲ 12.5	▲ 17.1	▲ 4.6
業況前期比	▲ 75.0	▲ 42.9	32.1
業況前年同期比	▲ 87.5	▲ 77.1	10.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 40.6	▲ 20.0	20.6

[企業コメントより]

・コロナ禍による市場停滞【部品表面処理】

・8月、9月は非常に悪い【部品製造】

・自動車の国内販売は、コロナの影響もあるが、最終メーカー各社様の方針案の影響が大きいと思う。

【部品製造】

・90% 地元メーカー次第である【内装部品製造】

・徐々に仕事量が増加している様に感じられるが、弊社の主たる取引先である自動車業界の復調に期待したい

【部品加工】

その他製造業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 73.7	▲ 34.3	39.4
売上高前年同期比	▲ 76.3	▲ 74.3	2.0
仕入単価前期比	▲ 13.2	▲ 8.6	4.6
利益率前期比	▲ 52.6	▲ 48.6	4.0
資金繰り前年同期比	▲ 52.6	▲ 37.1	15.5
従業員前年同期比	▲ 10.5	▲ 11.4	▲ 0.9
業況前期比	▲ 79.0	▲ 28.6	50.4
業況前年同期比	▲ 89.5	▲ 71.4	18.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 68.4	▲ 34.3	34.1

[企業コメントより]

・コロナの影響で全て悪くなっている【ニット製品製造】。

・コロナの状況で、今後の景況感は左右されると考えている。コロナ次第である【繊維加工】。

・法律上の手続きの遅れにより、主力製品の生産が今年下期は不可能になった【化学製品製造】。

・前年の水準まではいかないが、回復の兆し有り【電機製品部品製造】。

・コロナ拡大の為／コロナ禍の影響【産業機械製造、家具製造】。

・秋口から忙しくなる見込み【省力機器製造】。

・コロナ影響により前年より売上等悪化するも比較的堅調に販売推移。コロナにより先行き不透明であるが、現時点では業況が回復していくことを見込んでいる【電気機器製造】。

・7、8月の感染拡大を受け、再び悪化となった。9月以降は、受注が元に戻りつつあるが、再び感染拡大となると厳しくなる【食料品製造】。

・コロナなのか長梅雨なのか猛暑なのか？仕事の無い月もあった【住宅内装品製造】。

・(次期は)前年10~12月と比べて悪いが、今期7~9月よりは回復傾向になる見込み【金属製品製造】。

建設業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 33.3	▲ 13.2	20.1
売上高前年同期比	▲ 46.2	▲ 29.0	17.2
仕入単価前期比	▲ 10.3	▲ 7.9	2.4
利益率前期比	▲ 18.0	▲ 29.0	▲ 11.0
資金繰り前年同期比	▲ 25.6	▲ 13.2	12.4
従業員前年同期比	10.3	0.0	▲ 10.3
業況前期比	▲ 30.8	▲ 31.6	▲ 0.8
業況前年同期比	▲ 64.1	▲ 44.7	19.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 69.2	▲ 34.2	35.0

[企業コメントより]

・今後、受注が伸び悩むと思われる【建設業】。

・コロナの影響も有る【住宅建築】。

・天気不安定な日が多い為、業務柄改修工事が多いです。コロナの影響か新築物件の話が少ない様な気がする【住宅付帯工事】。

卸売業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 73.1	▲ 53.9	19.2
売上高前年同期比	▲ 80.8	▲ 80.8	0.0
仕入単価前期比	▲ 23.1	▲ 19.2	3.9
利益率前期比	▲ 57.7	▲ 42.3	15.4
資金繰り前年同期比	▲ 50.0	▲ 26.9	23.1
従業員前年同期比	11.5	19.2	7.7
業況前期比	▲ 73.1	▲ 57.7	15.4
業況前年同期比	▲ 80.8	▲ 80.8	0.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 80.8	▲ 34.6	46.2

[企業コメントより]

・国よりコロナ対応策として取引先、病院、施設等に補助金が給付され設備・消毒機械、非接触型体温計、特殊浴槽等、加えて消耗品、ガウン、手袋、マスク、消毒剤等活発な引き合いがあり、売上増になったと思われる【医療資材卸】。

・客先がコロナの関係で週休3日又は4日の為、稼働状況が必要以上に悪い【化学薬品卸】。

・コロナウイルスによる客先の仕事量の減少に伴い、部品等の購入制限のため【金属部品卸】。

・2020年4月から9月まで業況は悪い状態が続き、10月からゆるやかに回復予定【金型部品卸】。

・新型コロナの影響で夏のイベント、祭りなどすべてが中止となり、7月・8月は売上減少となっている。このような状況がこれからも続くと思う【食品卸】。

小売業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 51.5	▲ 46.7	4.8
売上高前年同期比	▲ 72.7	▲ 66.7	6.0
仕入単価前期比	▲ 18.2	▲ 20.0	▲ 1.8
利益率前期比	▲ 57.6	▲ 36.7	20.9
資金繰り前年同期比	▲ 51.5	▲ 30.0	21.5
従業員前年同期比	▲ 3.0	▲ 6.7	▲ 3.7
業況前期比	▲ 60.6	▲ 50.0	10.6
業況前年同期比	▲ 72.7	▲ 76.7	▲ 4.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 84.9	▲ 53.3	31.6

[企業コメントより]

- ・かろうじて各項目共、前年並みになっている。コロナ禍の影響がいまだに尾をひいているのか、街の人出が少ない状況である。先の見通しが早く良くなるのを期待する【服飾資材販売】。
- ・コロナによる自粛の影響により、ギフト関係の需要が平年と比べて減っている様子だ【菓子製造販売】。
- ・暑さとコロナで客の出足が悪い。客単価も落ちている【食料品販売】。
- ・弊社は小売業であるが、コロナ禍の下で来店・購買客数が減少しており、滞店時間の減少にともなって客単価も下落している。又、コロナ予防対策費が経費増になっている【化粧品・服飾品販売】。
- ・観光地向けの卸が悪い【精肉加工品製造販売】
- ・7月8月は地域のイベントが皆無であった。また8月お盆の需要が全くなかった【飲料販売】。
- ・コロナ禍の影響が長引く中、ジワジワ、ボディーブローのように効いてきている。持続可能な経営を続けていけるか、不安である【米穀品販売】。
- ・構造的な要因もあるが、やはりコロナ禍の影響が大きい【楽器販売】。
- ・7月から流れが変わってきた。既存客は約8割は戻り、新規客も増えた。お一人お一人に合わせた対応でお客様に喜んでいただける工夫をし、コロナ対策と新しいことの共存を更に強化(すること)が必要【化粧品販売】。
- ・たばことたばこ用品が中心のため、10月1日からの値上げ増税によるたばこ離れがどう出るのが問題点【嗜好品販売】。

サービス業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 72.6	▲ 35.9	36.7
売上高前年同期比	▲ 80.4	▲ 81.1	▲ 0.7
仕入単価前期比	2.0	▲ 11.3	▲ 13.3
利益率前期比	▲ 68.6	▲ 37.7	30.9
資金繰り前年同期比	▲ 60.8	▲ 56.6	4.2
従業員前年同期比	▲ 11.8	▲ 17.0	▲ 5.2
業況前期比	▲ 80.4	▲ 47.2	33.2
業況前年同期比	▲ 90.2	▲ 90.6	▲ 0.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 68.6	▲ 49.1	19.5

[企業コメントより]

- ・いまだかつて経験したことのない不況となっているが、経費の見直しや従業員への精神的なフォローなど、企業体としての真価が問われる時だと思って頑張っている【運送業】。
- ・業況は、大騒ぎする程悪くはない。しばらくはこんな状況が普通になっていくのではないかと【食堂】
- ・新型コロナウイルスの影響はおそらく来年の3月まで続くであろうから、これを前提に資金繰りを考えるべきかと思う。ただ、観光・サービス・飲食はそれまで持ちこたえられるのか心配である。国や自治体もコロナの終息目標をたて、経済再生策を講じるべきである。経済へのアクセルとブレーキは同時ではなく交互に踏むべきだ。巣ごもりは感染予防対策であり、決して善いことではないことを唱え続ける必要がある【広告代理店】。
- ・コロナの影響により4, 5月は本当に売り上げが前年の半分となった。6月からは少しづつ戻りつつあるが、前年比で70~80%程度である。まだまだ良くはない【レストラン】。
- ・コロナ禍、何とか支援を拡大してほしい【レストラン】。
- ・4~6月は外出自粛や時短要請の影響が大きく、業績は低調だった。6月最終週ころから、飲食店限定の太田市金券を利用するお客様が沢山いらした。特に7月はその金券利用のおかげで商売になった。8月も少なからず同様の利用がありとても助かった。そのうえ、金券を利用するお客様は新規客とみられる方が多く、それもありがたく感じた。今後は既存客への販促を続けることで客足の鈍化に歯止めをかけたい【レストラン】。
- ・前期も今期も新型コロナウイルスの影響が続き、経営環境面は変わらない。会社関係の人の集まりが早く戻ってほしい【ケータリングサービス】。
- ・7~9月期は、前期に比べれば仕事は動いている。ただ前年同期に比べて設備投資するお客様が極端に減り、見通しは悪い【環境測定】。

・まだ、新型コロナの影響が多少あって前年同期の売上にはなかなか戻らない。こんな状況がしばらく続くのだろう【理容業】。

・製造業の業況が不安定で、工場発生のスクラップ等が出てこない。8月に緊急融資をしてもらったが、売上の大幅減少の一方経費は変わらずで、融資の額でいつまでもつか心配である【資源回収】。

・コロナ感染の影響が続いており、先行きも不透明で不安だ！！【建物清掃】

・4～5月は店内飲食客数激減の傍ら、テイクアウトの注文が急激に増えたが、6月頃からその注文も落ち着いてしまった。店内飲食は相変わらず“密”を避けなければならず、テーブル数を減らした。しかし一方でパーティ予約がとれないこともあり、テイクアウト販促か店内飲食販促か…のどっちつかずの苦しい経営状況はここ半年間変わらない。それでも行政のサポートや団体の弁当の注文をいただき、何とか現状をぎりぎりキープできている。がしかし、この弁当の注文もいつまでいただけるのか不安であり、また弁当は容器代やメニュー価格を抑えなければならず、利益率はかなり悪い。このような次々起こる問題にどう対処して行こうかと日々模索しているところだ。早く“新しい日常”の上の営業に慣れていかななくては…と常に考えている【飲食店】。

・外出が制限され、企業及び個人の訪問活動が出来ない状況となっている【保険】。

・コロナ禍のため売上と利益は落ち込んだが、今後は少しずつ回復すると見ている【外国語教育】。

・新規来店ハードルを上げている【整体】

・会食等は今後も見込めない状況である。またイベント中止により、仕出し関連も依然として無し【飲食店】。

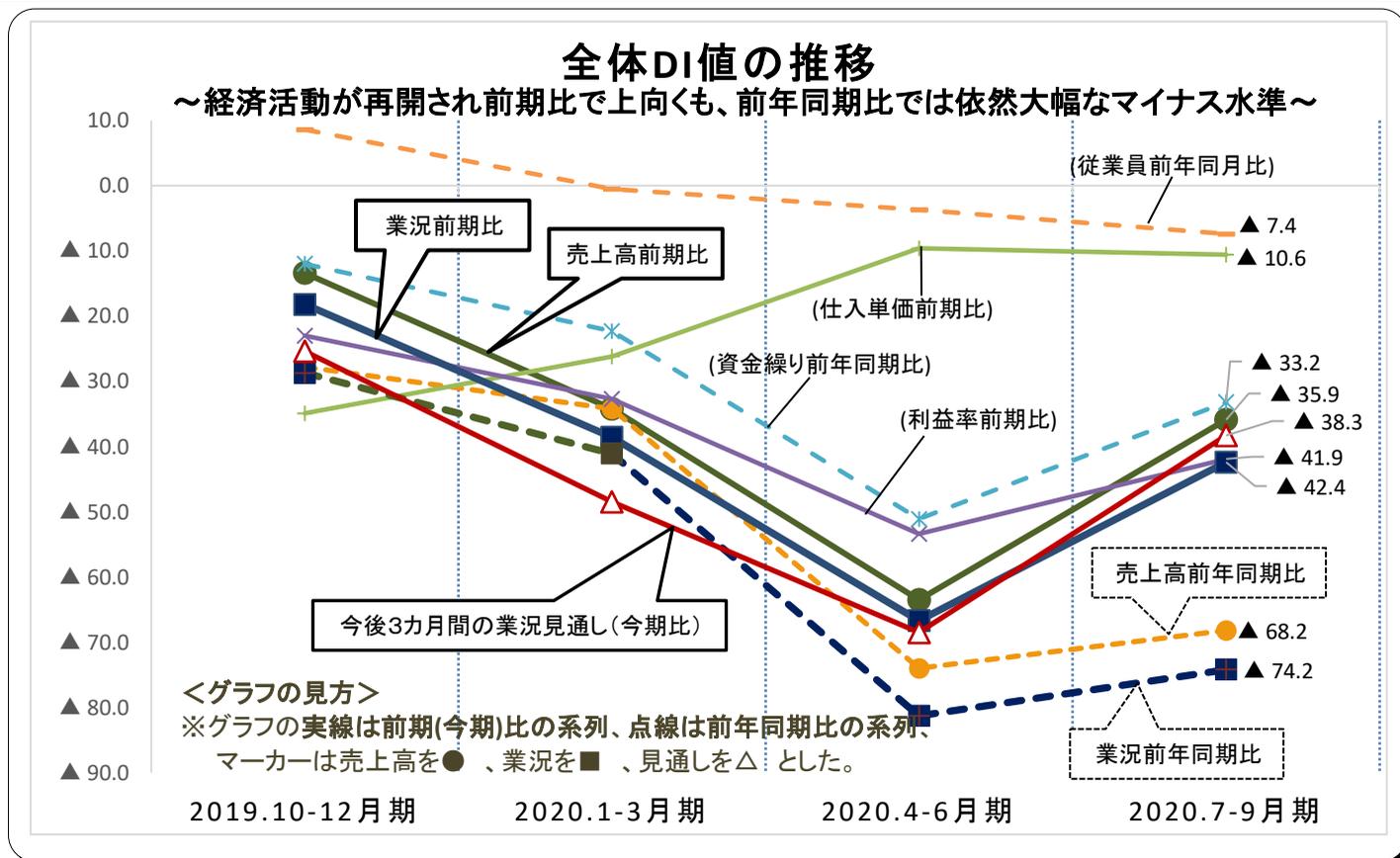
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 63.5	▲ 35.9	27.6
売上高前年同期比	▲ 74.0	▲ 68.2	5.8
仕入単価前期比	▲ 9.6	▲ 10.6	▲ 1.0
利益率前期比	▲ 53.4	▲ 41.9	11.5
資金繰り前年同期比	▲ 51.1	▲ 33.2	17.9
従業員前年同期比	▲ 3.7	▲ 7.4	▲ 3.7
業況前期比	▲ 66.7	▲ 42.4	24.3
業況前年同期比	▲ 81.3	▲ 74.2	7.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 68.5	▲ 38.3	30.2

(4) 動向について

- ・7~9月期は経済活動再開に伴い多くの指標が上昇に転じるなど、前期調査に比べると改善した。しかしDI値の水準をみると、前年同期比で売上高が▲68.2、業況判断が▲74.2と、非常に低いレベルにとどまっている。
- ・また、従業員DIも3期連続で「減少」超の水準が続いている。
- ・各業種別においても概ね上記と同様の回復ぶりがみられるが、建設業では売上高上昇の一方で利益率が低下し、前期比の業況はやや悪化した。
- ・今後3ヶ月間の業況見通しDIは、改善するも▲38.3とマイナス水準を予想する。業種別にみると輸送機器が▲20、その他製造・建設・卸売がおよそ▲34~▲35、小売・サービスは▲50内外と業種間で差がみられる。

全 体 D I 値 の 推 移	2019.10-12月期	2020.1-3月期	2020.4-6月期	2020.7-9月期
売上高前期比	▲ 13.4	▲ 34.2	▲ 63.5	▲ 35.9
売上高前年同期比	▲ 27.8	▲ 34.2	▲ 74.0	▲ 68.2
仕入単価前期比	▲ 34.9	▲ 26.2	▲ 9.6	▲ 10.6
利益率前期比	▲ 23.0	▲ 32.7	▲ 53.4	▲ 41.9
資金繰り前年同期比	▲ 12.0	▲ 22.3	▲ 51.1	▲ 33.2
従業員前年同期比	8.6	▲ 0.5	▲ 3.7	▲ 7.4
業況前期比	▲ 18.2	▲ 38.6	▲ 66.7	▲ 42.4
業況前年同期比	▲ 28.7	▲ 41.1	▲ 81.3	▲ 74.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.4	▲ 48.5	▲ 68.5	▲ 38.3



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 37.1	▲ 35.7	-	-
建設業	▲ 13.2	▲ 24.1	-	-
卸売業	▲ 53.9	▲ 29.8	-	-
小売業	▲ 46.7	▲ 27.4	-	-
サービス業	▲ 35.9	▲ 22.4	-	-
全体	▲ 35.9	▲ 27.4	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 75.7	-	▲ 68.0	▲ 9.8
建設業	▲ 29.0	-	▲ 32.1	
卸売業	▲ 80.8	-	▲ 52.4	▲ 9.1
小売業	▲ 66.7	-	▲ 48.8	
サービス業	▲ 81.1	-	▲ 68.6	
全体	▲ 68.2	-	▲ 56.4	▲ 9.3

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 4.3	-	▲ 15.0	-
建設業	▲ 7.9	-	▲ 27.0	-
卸売業	▲ 19.2	-	▲ 21.2	-
小売業	▲ 20.0	-	▲ 18.6	-
サービス業	▲ 11.3	-	▲ 19.3	-
全体	▲ 10.6	-	▲ 19.6	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 54.3	▲ 62.3	▲ 63.6	▲ 47.5
建設業	▲ 29.0	▲ 32.9	▲ 31.3	
卸売業	▲ 42.3	▲ 59.6	▲ 49.2	▲ 45.4
小売業	▲ 36.7	▲ 54.7	▲ 48.6	
サービス業	▲ 37.7	▲ 59.0	▲ 66.2	
全体	▲ 41.9	▲ 55.4	▲ 54.1	▲ 45.9

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 30.0	▲ 27.2	▲ 34.7	4.0
建設業	▲ 13.2	▲ 13.0	▲ 9.5	
卸売業	▲ 26.9	▲ 19.6	▲ 21.7	7.0
小売業	▲ 30.0	▲ 25.8	▲ 29.4	
サービス業	▲ 56.6	▲ 25.4	▲ 39.6	
全体	▲ 33.2	▲ 24.0	▲ 29.2	5.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 14.3	▲ 12.3	—	—
建設業	0.0	▲ 4.4	—	—
卸売業	19.2	▲ 7.0	—	—
小売業	▲ 6.7	▲ 7.2	—	—
サービス業	▲ 17.0	▲ 13.6	—	—
全体	▲ 7.4	▲ 10.2	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 35.7	▲ 40.8	—	▲ 44.0
建設業	▲ 31.6	▲ 21.8	—	5.0
卸売業	▲ 57.7	▲ 37.4	—	▲ 35.0
小売業	▲ 50.0	▲ 36.2	—	▲ 21.0
サービス業	▲ 47.2	▲ 32.1	—	▲ 74.0
全体	▲ 42.4	▲ 34.1	—	▲ 31.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

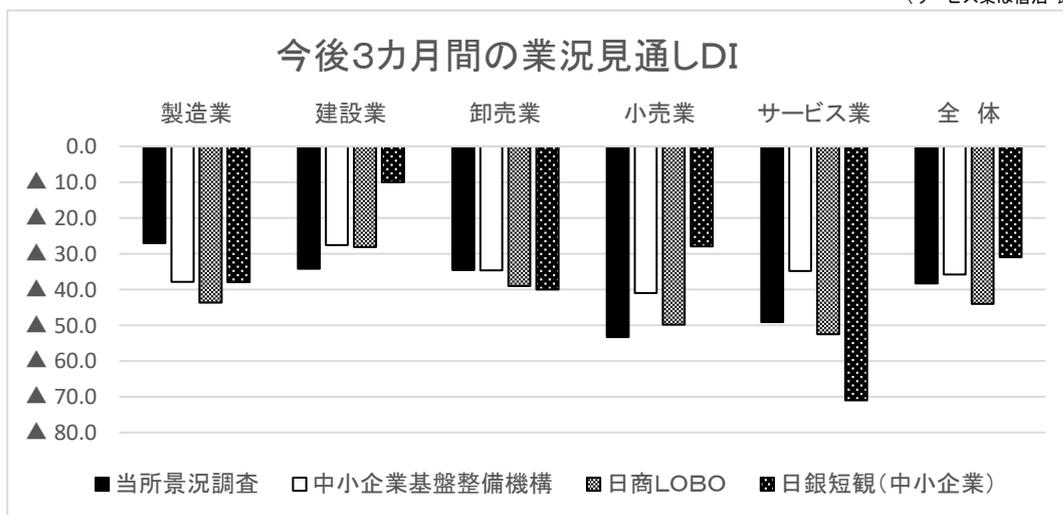
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 74.3	—	▲ 69.5	—
建設業	▲ 44.7	—	▲ 33.5	—
卸売業	▲ 80.8	—	▲ 55.8	—
小売業	▲ 76.7	—	▲ 53.0	—
サービス業	▲ 90.6	—	▲ 23.6	—
全体	▲ 74.2	—	▲ 58.3	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 27.1	▲ 37.9	▲ 43.7	▲ 38.0
建設業	▲ 34.2	▲ 27.6	▲ 28.1	▲ 10.0
卸売業	▲ 34.6	▲ 34.7	▲ 39.0	▲ 40.0
小売業	▲ 53.3	▲ 41.0	▲ 49.8	▲ 28.0
サービス業	▲ 49.1	▲ 34.8	▲ 52.5	▲ 71.0
全体	▲ 38.3	▲ 35.8	▲ 44.0	▲ 31.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2020年（令和2年）10月2日 発行